つじまつ COMMUNICATION

17

つじまつコミュニケーション：築地松情報誌2003.1月　発行ー築地松景観保全対策推進協議会

冬の空は気まぐれである。つい今し方まで晴れていて冬の日差しが射していたと思ったら、あっという間に雲に覆われ、日差しを失った築地松がまるで城壁のように黒くそびえて見える。雲の切れ間から一筋の光線が出雲平野を照らし出した。その橙色の光は、まるで出雲の神が、今まさに築地松の上に降り立たんとしているかのように見える。

樹齢百年を超える築地松の巨木は、長い間風雪から出雲平野の人々の暮らしを守りつづけてきた。それは築地松が、光とともに降り立った出雲の神から受けた啓示を、黙々と果たしてきたのではないかとさえ感じる景色だ。

第2回 陰手刈り技術研修会の報告

出雲平野特有の景観美・築地松を保全するためには、「陰手刈り」という4～5年に一度行われる剪定作業が不可欠です。しかし、現在では"陰手刈り職人の高齢化・後継者不足"が大きな課題となっているのが実情です。そこで、昨年に続き長年陰手刈りに携わっている職人の方を講師に招いての実技講習を行い、後継者育成を図る技術研修会が開催されました。

主催
築地松景観保全対策推進協議会

開催日時・場所
平成14年11月27日（水）、10:00～16:00
斐川町福富　竹下優治様宅

研修者
現在陰手刈りに従事している方及び今後従事しようとしている方および今後従事しようと考えている方15名（出雲市、平田市、斐川町および大社町に在住または勤務地のある造園業に従事している方、森林組合の作業員の方たち）
・見学者　松江農林高等学校（先生1名、生徒1名）

講師
陰手刈り職人　永岡勝蔵さん（大社町在住）・金本武夫さん（出雲市在住）・坂本芳友さん（斐川町在住）

研修生のコメント

土江康夫さん（平田市）

職業訓練校を修了し、次の就職は造園業を希望しています。築地松は、出雲地方の庭造りと関わりが深いので、伝統の技を身近で学べる研修会に参加できてうれしいです。直接講師の職人さんの手付きや身のこなしを目の当たりにし、とても刺激を受けました。地上10m以上の高い位置で、しかも定規もないのに、目測とカンのみで広い範囲の枝を水平に刈る技術に、惚れ惚れしてしまいました。陰手刈り専用の長柄の鎌で枝を刈るのは初めての経験です。今日学んだ実技と知識を次の仕事につなげていきたいと思います。

日野伸二さん（出雲市・出雲森林組合）

出雲森林組合では、今後業務として築地松の剪定作業を行う計画です。今日は職場の仲間たち9名で研修会に参加しました。木を扱う仕事という部分では共通点がありますが、熟練した講師のみなさんの技術は、まさに芸術ですね。剪定に使う道具も独特ですし。私のこれまでの仕事は木を切り出すことでした。でも、これからは自然にお返しをする意味でも、木を守り管理する仕事をしていきたいのです。築地松の保全には、松くい虫の防除という大きな課題もありますが、自分の経験も生かしながら積極的に取り組みたいです。

見学者のコメント

寺本陽一さん（松江農林高校環境土木科造園コース3年生）

松江市内で生まれ育った僕は、築地松のことを高校の授業で初めて知りました。田畑の真ん中にある家を、クロマツの屋敷森で強い陽射しや風から守るという昔の知恵はすごいです。でも、この景観を守るための"陰手刈り"の仕方とは？　高い場所に上がって剪定作業をする職人さんは、恐くないのかな？…卒業論文に築地松を取り上げるため、自分であれこれ考えて質問をしたのですが、ベテランの職人さんが気さくに答えてくれたので楽しく学べました。築地松は出雲平野にしかない風景なので、いつまでも残ってほしいと思います。

講師さんのコメント

永岡勝蔵さん（大社町在住・80歳）

築地松は、最低でも100mほど遠くから眺めた時に立派に見えるようでなければいけません。私は築地松の端の部分を10～15cmほど上げて刈ります。両端がそり上がったように刈ると、遠くからでも誇らしい姿に映ります。研修場所のお宅のクロマツ（西側）は木が若く、樹齢40年といったところ。上の方の枝が勢いよく伸びているので、下に行くほど厚く刈るようにします。陰手刈りを依頼される家によってクロマツの生育状況も様々ですので、そのあたりもよく見極めて枝を整えることが肝心です。

金本武夫さん（出雲市在住・74歳）

研修生の人たちには「今日の実技講習で"世界遺産"になるようにきれいな形にしよう！」と呼びかけました。私はかねがね築地松こそ世界遺産にふさわしい出雲独特の景観美だと自負し、これまで20年以上の職人生活に誇りをもって取り組んでおります。10m～15mもの高さでの剪定作業は、常に危険と隣り合わせです。命綱を装着しますが、他人任せでは安心できません。自分で作った命綱を使っております。陰手刈り職人になるためには、まず高さに馴れることが第一歩。そして"5年間修業して一人前、一生懸命なら3年"です。

坂本芳友さん（斐川町在住・73歳）

今回はじめて講師として研修会に参加しました。技術を口で伝えるというのは苦手です。私が作業するやり方を目の前で見ていただき、研修生のみなさんの参考にしていただければ、と願っています。陰手刈りの技術は、実際に現場で仕事をしながら覚えるのが一番ですから。そういった意味では、職人の後継者育成のために研修会を実施した築地松景観保全推進協議会の皆さんのご努力に頭が下がる思いです。今日の研修会が、ひとりでも多くの職人が育つきっかけになってほしいと思います。

築地松景観保全住民協定及び助成制度

築地松景観を保全するため、一定の区域の住民に協定を結んでもらい、
その住民協定に基づいて行う築地松の維持管理費に対して助成する制度です。

■築地松住民協定締結団体分布図

……協定締結団体所在地区
数字……協定締結団体数
※平成14年3月末現在148団体

■築地松景観保全住民協定の認定（平成14年3月末現在）

合計 ― 協定数：148／構成人数：2,777人
所有者：2,089人 ／ 面積：2,642.20ha

市町村名	出雲市	平田市	斐川町	大社町
協定数	56	19	53	20
構成人数	707 人	538 人	1,228 人	304 人
所有者数	574 人	351 人	863 人	301 人
面積	546 ha	487.7 ha	1,407.86 ha	200.64 ha

■築地松助成金の交付（平成13年度）

合計 ― 助成人数：240人
助成金支出額：9,048,000円

市町村名	出雲市	平田市	斐川町	大社町
助成人数	51 人	40 人	97 人	52 人
支出額	2,397,000円	1,612,000円	3,084,000円	1,955,000円

築地松景観保全住民協定新規認定地区（10地区）
―平成13年2月～平成14年3月―

市町名	協定名
出雲市	出雲市松寄下町鳥居田町内築地松を活かしたまちづくり住民協定
斐川町	灘東灘西地区築地松を活かしたまちづくり住民協定
斐川町	中座地区築地松を活かしたまちづくり住民協定
斐川町	美南北島地区築地松を活かしたまちづくり住民協定
斐川町	沖洲前島地区築地松を活かしたまちづくり住民協定
斐川町	黒目相場地区築地松を活かしたまちづくり住民協定
斐川町	勝久寺地区築地松を活かしたまちづくり住民協定
斐川町	大島地区築地松を活かしたまちづくり住民協定
斐川町	東北地区築地松を活かしたまちづくり住民協定
斐川町	原地区築地松を活かしたまちづくり住民協定

陰手刈りさんご紹介

築地松景観保全対策推進協議会からのおしらせ

当協議会では、毎年「陰手刈り」さんを紹介しています。
自宅の築地松の剪定時期を迎えられている皆様、是非連絡をされてみてはいかがですか？
なお、連絡は、「陰手刈り」さん本人に直接お願いします。

郵便番号	住所	氏名	電話番号	陰手刈りを行う期間	陰手刈りに行ける地域
699-0721	簸川郡大社町修理免1405	上田　忠	0853-53-2708	年中	大社町・出雲市
699-0732	簸川郡大社町入南476-2	永岡勝蔵	0853-53-1800	2月～12月	大社町・出雲市等
699-0731	簸川郡大社町遥堪1165	長廻　浩	0853-53-1624	3月～4月・9月～12月	出雲市・大社町・斐川町
699-0554	簸川郡斐川町三分市116	錦織　進	0853-62-4264	10月～翌年3月まで	斐川町・出雲市
699-0643	簸川郡斐川町原鹿453	坂本芳友	0853-72-3474	1月～5月	主に斐川町内
699-0502	簸川郡斐川町荘原町3420	樋野良吉	0853-72-3233	12月～4月	全地域
699-0502	簸川郡斐川町荘原町2880-3	坂本行弘	0853-72-9721	年中	斐川町・出雲市・平田市
699-0501	簸川郡斐川町学頭1815	(有)高橋造園	0853-72-6508	5月～9月	簸川郡・出雲市
691-0003	平田市灘分町2620	石原勝之	0853-62-3983	春・秋・冬	平田市・出雲市・斐川町
693-0031	出雲市古志町996	金本武夫	0853-24-3528	年中(梅雨時期、夏季は除く)	県内
699-0822	出雲市神西沖町479-2	柘植観象園	0853-43-1882	1月～3月	出雲市・平田市・斐川町・大社町
693-0005	出雲市天神町307-12	遊木恒夫	0853-22-3543	春・秋	出雲市
693-0006	出雲市白枝町814-3	中湯忠吉	0853-23-4043	年中	出雲市・大社町(一部)・斐川町
693-0051	出雲市小山町534-1	新山弘二	0853-22-9217	年中	出雲市・大社町(一部)・斐川町
693-0067	出雲市矢尾町614-1	宮本光敏	0853-24-1609	春・秋	出雲市・大社町
693-0067	出雲市矢尾町下沢175-27	福代梶正	0853-24-2026・1449	3月～11月	出雲市内
693-0005	出雲市天神町253-1	田中俊雄	0853-22-0860	年中	出雲市
693-0004	出雲市渡橋町884-1	久谷芳則	0853-23-7683	年中	出雲市・大社町

※順不同・敬称略　※掲載に同意していただいた陰手刈りさんのみ載せています。上記以外の陰手刈りさんで、ご紹介を希望される方がありましたら、協議会までご連絡ください。

TSUIJIMATSU TOPIC

ついじまつとぴっく

『築地松を守ろう!』下敷き贈呈式が開催されました。

築地松景観保全推進協議会では、今年度の普及啓発事業として小学生を対象とした「築地松を守ろう！」下敷きを作成しました。両面カラーの下敷きは、表面に築地松の風景写真、裏面は築地松の歴史や役割などをクイズ形式で楽しく学べるようになっています。

平成14年9月27日(金)、斐川町立中部小学校(周藤祥一校長)の全校朝礼の場で、下敷きの贈呈式が行われました。式には当協議会の新宮義忠副会長も出席。「築地松はとても貴重で大切なもの」と挨拶で述べると、児童たちは真剣に耳を傾けていました。同副会長から下敷きを手渡された児童代表の嘉藤沙耶さん(6年2組)は、「私が生まれた頃のわが家には、築地松はもうなくなっていたけど、近所の家にあるので良く知っている。斐川町ならではのものなので、なくなってほしくないです。」と話してくれました。

完成した下敷き(１万1,000枚)は、出雲市、平田市、斐川町、大社町内の小学校(36校)と県立出雲養護学校(小学部)の児童全員に配布されました。

クイズに挑戦!! 築地松ってなあに?

Q１ 「築地松」の読み方はなんでしょう？

Q２ 大切な松を枯らしてしまう松くい虫を運ぶのは、次のどれでしょう？

①セミ　②ハチ　③カミキリムシ

Q３ 今、出雲平野に築地松は何本ぐらいあるでしょう？

①およそ2,250本　②およそ22,500本　③およそ225,000本

Q４ 築地松の枝をきれいに刈ってくれる人を何と言うのでしょう？

Q５ 築地松の枝は、ふつう何年に１回刈るのでしょう？

Q６ 築地松は、家からみて、どの方角に植えてあることが多いでしょう？

Q７ 築地松の役割は何でしょう？　次の中から違うのを１つ選んでね。

①強い風から家を守る　②刈った枝を燃料として使う

③クリスマスツリーにする　④きれいな景色を見せてくれる

Q８ 築地松は、出雲平野にしかないって本当？

■こたえ

Q１. ついじまつ。

Q２. ③正しくは「マツノマダラカミキリ」と言います。

Q３. ②松くい虫などで、少しずつ減っています。

Q４. "のうてこびと"さん。　Q５. ４年。

Q６. 北と西。　Q７. ③。

Q８. 本当です。築地松は、世界中で出雲平野にしかない島根県の宝物です。

※「築地松を守ろう！」下敷裏“築地松ものしり博士ゲーム”から転載

築地松景観保全対策推進協議会

島根県環境生活部景観自然課　〒690-8501 松江市殿町１番地　電話 0852-22-6143
島根県出雲総務事務所　〒693-8511 出雲市大津町1139　電話 0853-23-1515
出雲市都市整備部都市計画課　〒693-8530 出雲市今市町109-1　電話 0853-21-2211
ついじまつホームページアドレス　http://www.pref.shimane.jp/section/keikan/

平田市建設経済部農山村整備課　〒691-8601 平田市平田町951-1　電話 0853-63-5546
斐川町環境政策課　〒699-0592 斐川町大字荘原町2172　電話 0853-73-9256
大社町農林水産課　〒699-0792 大社町大字杵築南1395　電話 0853-53-3113